

# 新たな推計方法

## (1) 世帯票・健康票の新たな推計方法

### ① 大規模調査 ※世帯票・健康票共通

$$\text{(層別) 調整係数} = \frac{\text{(層別) 推計世帯数}}{\text{(層別) 世帯票有効回答世帯数}}$$

※「層別」：県・指定都市×世帯構造×世帯主年齢階級別

$$\text{(県・指定都市別) 修正拡大乗数} = \frac{\text{(県・指定都市別) 6月1日推計人口}}{\text{(県・指定都市別) 調整後の世帯員数の合計}}$$

※(県・指定都市別) 調整後の世帯員数の合計 =  $\sum$  調整係数×世帯員数

→ 各個票に「調整係数×修正拡大乗数」をウエイトとして付与して、各推計値を算出

### ② 簡易調査 ※世帯票のみ

$$\text{(層別) 調整係数} = \frac{\text{(層別) 全国推計世帯数}}{\text{(層別) 世帯票有効回答世帯数}}$$

※「層別」：世帯構造×世帯主年齢階級別

$$\text{修正拡大乗数} = \frac{\text{6月1日推計人口}}{\text{調整後の世帯員数の合計}}$$

※調整後の世帯員数の合計 =  $\sum$  調整係数×世帯員数

→ 各個票に「調整係数×修正拡大乗数」をウエイトとして付与して、各推計値を算出

## (2) - 1 所得票・貯蓄票の新たな推計方法【新推計②】

### ① 大規模調査 ※所得票・貯蓄票共通

$$\text{(層別) 調整係数} = \frac{\text{(層別) 推計世帯数}}{\text{(層別) 所得票有効回答世帯数}}$$

※「層別」：県・指定都市×世帯構造×世帯主年齢階級別

$$\text{(県・指定都市別) 修正拡大乗数} = \frac{\text{(県・指定都市別) 6月1日推計人口}}{\text{(県・指定都市別) 調整後の世帯員数の合計}}$$

※(県・指定都市別) 調整後の世帯員数の合計 =  $\sum$  調整係数×世帯員数

→ 各個票に「調整係数×修正拡大乗数」をウェイトとして付与して、各推計値を算出

### ② 簡易調査 ※所得票のみ

$$\text{(層別) 調整係数} = \frac{\text{(層別) 全国推計世帯数}}{\text{(層別) 所得票有効回答世帯数}}$$

※「層別」：世帯構造×世帯主年齢階級別

$$\text{修正拡大乗数} = \frac{\text{6月1日推計人口}}{\text{調整後の世帯員数の合計}}$$

※調整後の世帯員数の合計 =  $\sum$  調整係数×世帯員数

→ 各個票に「調整係数×修正拡大乗数」をウェイトとして付与して、各推計値を算出

## (2) - 2 所得票・貯蓄票の新たな推計方法【新推計③】

### ① 大規模調査 ※所得票・貯蓄票共通

$$\text{(層別) 調整係数} = \frac{\text{(層別) 推計世帯数}}{\text{(層別) 世帯票有効回答世帯数}} \times \frac{\text{(県・指定都市別) 世帯票有効回答世帯数}}{\text{(県・指定都市別) 所得票有効回答世帯数}}$$

※「層別」：県・指定都市×世帯構造×世帯主年齢階級別

$$\text{(県・指定都市別) 修正拡大乗数} = \frac{\text{(県・指定都市別) 6月1日推計人口}}{\text{(県・指定都市別) 調整後の世帯員数の合計}}$$

※(県・指定都市別) 調整後の世帯員数の合計 =  $\sum$  調整係数×世帯員数

→ 各個票に「調整係数×修正拡大乗数」をウエイトとして付与して、各推計値を算出

### ② 簡易調査 ※所得票のみ

$$\text{(層別) 調整係数} = \frac{\text{(層別) 全国推計世帯数}}{\text{(層別) 世帯票有効回答世帯数}} \times \frac{\text{世帯票有効回答世帯数}}{\text{所得票有効回答世帯数}}$$

※「層別」：世帯構造×世帯主年齢階級別

$$\text{修正拡大乗数} = \frac{\text{6月1日推計人口}}{\text{調整後の世帯員数の合計}}$$

※調整後の世帯員数の合計 =  $\sum$  調整係数×世帯員数

→ 各個票に「調整係数×修正拡大乗数」をウエイトとして付与して、各推計値を算出

### (3) 介護票の新たな推計方法

(層別) 推計世帯数

$$(層別) 調整係数 = \frac{\text{---}}{(層別) 世帯票有効回答世帯数}$$

※「層別」：県・指定都市×世帯構造×世帯主年齢階級別

$$(県・指定都市別) 修正拡大乗数 = \frac{(県・指定都市別) 6月1日推計人口}{(県・指定都市別) 調整後の世帯員数の合計} \times \frac{(県・指定都市別) 世帯票の介護認定者数}{(県・指定都市別) 介護票の認定者数}$$

※(県・指定都市別) 調整後の世帯員数の合計 =  $\Sigma$  調整係数×世帯員数

→ 各個票に「調整係数×修正拡大乗数」をウエイトとして付与して、各推計値を算出

### (参考) 「層別」のイメージ

		世帯構造							
		単独(男)	単独(女)	夫婦のみ	夫婦と未婚の子	ひとり親と未婚の子		三世代	その他
						母子・父子	母子・父子以外		
世帯主年齢階級	計	XXXXX	XXXXX	XXXXX	XXXXX	XXXXX	XXXXX	XXXXX	XXXXX
	19歳以下	XXXXX	XXXXX	XXXXX	XXXXX	XXXXX	XXXXX	XXXXX	XXXXX
	20～24歳	XXXXX	XXXXX	XXXXX	XXXXX	XXXXX	XXXXX	XXXXX	XXXXX
	25～29歳	XXXXX	XXXXX	XXXXX	XXXXX	XXXXX	XXXXX	XXXXX	XXXXX
	30～34歳	XXXXX	XXXXX	XXXXX	XXXXX	XXXXX	XXXXX	XXXXX	XXXXX
	35～39歳	XXXXX	XXXXX	XXXXX	XXXXX	XXXXX	XXXXX	XXXXX	XXXXX
	40～44歳	XXXXX	XXXXX	XXXXX	XXXXX	XXXXX	XXXXX	XXXXX	XXXXX
	45～49歳	XXXXX	XXXXX	XXXXX	XXXXX	XXXXX	XXXXX	XXXXX	XXXXX
	50～54歳	XXXXX	XXXXX	XXXXX	XXXXX	XXXXX	XXXXX	XXXXX	XXXXX
	55～59歳	XXXXX	XXXXX	XXXXX	XXXXX	XXXXX	XXXXX	XXXXX	XXXXX
	60～64歳	XXXXX	XXXXX	XXXXX	XXXXX	XXXXX	XXXXX	XXXXX	XXXXX
	65～69歳	XXXXX	XXXXX	XXXXX	XXXXX	XXXXX	XXXXX	XXXXX	XXXXX
	70～74歳	XXXXX	XXXXX	XXXXX	XXXXX	XXXXX	XXXXX	XXXXX	XXXXX
	75～79歳	XXXXX	XXXXX	XXXXX	XXXXX	XXXXX	XXXXX	XXXXX	XXXXX
80～84歳	XXXXX	XXXXX	XXXXX	XXXXX	XXXXX	XXXXX	XXXXX	XXXXX	
85歳以上	XXXXX	XXXXX	XXXXX	XXXXX	XXXXX	XXXXX	XXXXX	XXXXX	
不詳	XXXXX	XXXXX	XXXXX	XXXXX	XXXXX	XXXXX	XXXXX	XXXXX	

※(1)①、(2)①及び(3)については、都道府県・指定都市別に左記の世帯構造×世帯主年齢階級のウエイトを作成。  
 (1)②、(2)②については全国1つの左記の世帯構造×世帯主年齢階級のウエイトを作成。